

神回刑務所における作業療法



▲今回のここくろOT室の様子▲

全国からご参加いただき、刑務官の方や手芸キットの業者さん、当事者の方にもご参加いただきました。

活動報告

令和7年10月4日
ここくろOT室



ここくろOT室とは？

誰でも気軽に参加することができる精神科作業療法について語り合う双方向型情報バラエティー番組です！年間5回程度、オンラインにて開催しています。昨年より定期的に対面開催もはじめました！

参加できる人は？

作業療法士は勿論のこと理学療法士・言語聴覚士・看護師・介護支援専門員・作業療法学生・当事者の方等誰でも無料で参加できる研修会です！飲食もOKです。どうぞお気軽にご参加下さい。

今回、ご講義いただいた先生を紹介します！

足立一 教授

高知リハビリテーション専門職大学

◆ 所属 ◆

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

◆ 研究テーマ ◆

司法領域における作業療法
オンラインでのSST
ドローンサッカーの可能性



刑務所の作業療法を知る

今回はご縁があり、足立一さん（高知リハビリテーション専門職大学）をお招きし、『刑務所での作業療法』と題し、オンラインにて研修会を行いました。実は我々ここくろ委員会、今年の5月から川越少年刑務所にて、受刑者に対して作業療法を行なっています。今回は更に知識を深めたいという思いで足立さんにアタック！するとなんと、ありがたいことに快諾をいただき、この研修会の開催に至りました。

簡単に研修会の内容をお話しさせていただきます。足立さんは20年前から刑務所や少年院での更生プログラム、出所後の生活支援に取り組み、その効果研究もされています。今やじわじわとその認知度を上げていく刑務所における作業療法ですが、遥か20年も前から介入しているとお聞きし驚きました。基礎的な内容から始まり、私たちが想像もしなかったドローンを使用した介入やファクションを駆使した介入なども目から鱗。反面、私たちが悩んでいる、作業療法士としての受刑者との関わり方など「この関わり方で良いのかな？」と不安に思いながら介入していた部分は、やはり作業療法士！「間違ってたな」と再認識できた部分もあり学びになりました。

今回は、県内の作業療法士だけでなく県外の作業療法士さんや川越少年刑務所の刑務官の方、当事者の方やさくらほりきりさん（手芸作成キット等の業者さん）にもご参加いただき、多角的な視点からもディスカッションができ、非常に有意義な時間となりました。そしてなんと、今年度内に同様の研修会を開催することが決定しました。内容は現在検討中。我々の刑務所介入についてもご報告する予定となっています。続報に乞うご期待！

ここくろ委員先遣隊 川越少年刑務所での作業療法を始動

今年の年明けから、刑務所見学や刑務所での会議を重ね、今年の5月28日から刑務所での作業療法を開始しました。今年の埼玉県作業療法学会では、受刑者の作品展示も実現し、川越少年刑務所の所長をはじめとした刑務所の職員の方にも学会へお越しいただきました。右記に紹介した研修会にご期待下さい。